

1 (1)  $A=\{1, 2, 4, 8, 16\}$ ,  $B=\{1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8\}$   
 よって  $A \cap B = \{1, 2, 4, 8\}$ ,  $A \cup B = \{1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 16\}$

(2)  $A = \{-2, -1, 0, 1, 2\}$ ,  $B = \{-1, 1, 3\}$   
 よって  $A \cap B = \{-1, 1\}$ ,  $A \cup B = \{-2, -1, 0, 1, 2, 3\}$

2 (1)  $A \cap B = \{3, 5\}$   
 (2)  $\overline{A \cup B} = \overline{A \cap B} = \{1, 2, 4, 6, 7, 8, 9\}$   
 (3)  $\overline{A \cup B} = \{4, 6, 7, 9\}$   
 (4)  $A \cap \overline{B} = \{2, 8\}$

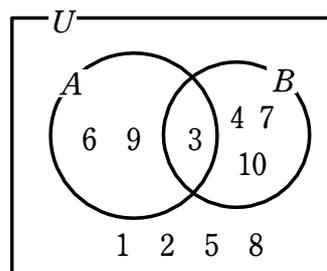
3 対偶「 $a, b$  はともに有理数  $\implies a + b$  は有理数」は真である。  
 よって、もとの命題も真である。

4 (1) (ア) ① (2) (イ) ② (3) (ウ) ③

1  $U = \{1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10\}$ ,  
 $\overline{A \cap B} = \{1, 2, 5, 8\}$ ,  $A \cap B = \{3\}$ ,  $\overline{A \cap B} = \{4, 7, 10\}$

右の図から

$$A = \{3, 6, 9\}, B = \{3, 4, 7, 10\}$$



2 逆「 $m, n, k$  の少なくとも1つは偶数  $\implies$  積  $mnk$  は偶数」 真

対偶「 $m, n, k$  はいずれも奇数  $\implies$  積  $mnk$  は奇数」 真

裏「積  $mnk$  は奇数  $\implies m, n, k$  はいずれも奇数」 真

3  $A \cap B = \{1, 4\}$  から、 $A$  の要素に4が含まれる。

よって  $a = 4$  または  $a + 1 = 4$

$a = 4$  のとき、 $A = \{1, 4, 5\}$ ,  $B = \{6, 4, 1\}$  となり、 $A \cap B = \{1, 4\}$  を満たす。

$a + 1 = 4$  すなわち  $a = 3$  のとき、 $A = \{1, 3, 4\}$ ,  $B = \{6, 5, 0\}$  となり、 $A \cap B = \{1, 4\}$  を満たさない。

したがって  $a = 4$

このとき  $A \cup B = \{1, 4, 5, 6\}$

4 (1) 偽である。反例： $a = \sqrt{2}$ ,  $b = -\sqrt{2}$

(2) 真である。

(証明) 対偶

「 $a + b$ ,  $a - b$  がともに有理数ならば,  $a$ ,  $b$  の少なくとも一方は有理数である」  
…… (A)

を証明する。

$a + b$ ,  $a - b$  は有理数であるから,  $p$ ,  $q$  を有理数として

$$p = a + b, \quad q = a - b$$

とおくことができる。これを  $a$ ,  $b$  について解くと

$$a = \frac{p+q}{2}, \quad b = \frac{p-q}{2}$$

$p$ ,  $q$  はともに有理数であるから,  $a$ ,  $b$  もともに有理数である。

「 $a$ ,  $b$  がともに有理数ならば,  $a$ ,  $b$  の少なくとも一方は有理数である」は真であるから, 命題 (A) は真である。

したがって, 与えられた命題は真である。

5 (1)  $b \neq 0$  と仮定すると, 等式は  $\sqrt{2} = -\frac{a}{b}$  と変形できる。

ここで,  $a$ ,  $b$  は有理数であるから,  $-\frac{a}{b}$  も有理数である。

このことは,  $\sqrt{2}$  が無理数であることに矛盾する。

よって  $b = 0$

次に,  $b = 0$  とすると,  $a + 0 \cdot \sqrt{2} = 0$  から  $a = 0$

したがって, 命題「 $a + b\sqrt{2} = 0 \implies a = b = 0$ 」は真である。

(2)  $a$ ,  $b$  が有理数ならば,  $a - 2$ ,  $b + 3$  はともに有理数である。

また,  $\sqrt{2}$  は無理数である。

よって, (1) で証明したことから, 有理数  $a$ ,  $b$  が  $(a - 2) + (b + 3)\sqrt{2} = 0$  を満たすとき

$$a - 2 = 0, \quad b + 3 = 0$$

したがって  $a = 2$ ,  $b = -3$

(このとき,  $(a - 2) + (b + 3)\sqrt{2} = 0$  である。)